

青少年の自立を支える会 通信

第28号 2004年10月1日発行 発行/ 認定特定非営利活動法人青少年の自立を支える会
発行責任者/ 伊達悦子 所在地/ 宇都宮市南大通り4-2-18
編集責任者/ 福田雅章 電話/ 028-651-0161 FAX/ 028-651-0162
Eメール/ sasaeru@snow.ucatv.ne.jp

目次



開設当初の星の家

小山の兄弟誘拐虐待殺害事件を可哀そうと、他人ごととすましてはいられない最近の「星の家」の実情と課題について、福田事務局長と曾根理事が語ります。

- | | |
|-----------------------|-------|
| 1. ボーダレス化する子ども達 | P-1 |
| 2. 「星の家」のこと | P-2 |
| ○ 星の家祭りと街頭募金のお知らせとお願い | P-3・4 |

1. ボーダレス化する子ども達

事務局長 福田雅章

また悲劇が繰り返されてしまった。小山市で男児2名が同居人によって殺害されてしまった。警察及び児童相談所が関与しながら、2人の冥福を心より祈りたい。

さて、支える会はさまざまな課題を抱えながらもどうにか7年の歳月を経過することができた。先月には2度目の認定NPO申請を国税局に行ったところである。7年前保育園児だった星さんの長男は今春中学校に入学した。星さん自身はとうとう50歳に達した。真剣に後継者について考えねばならないときが来てしまった。

この7年間、子どもたちを取り巻く環境は悪化の一途を辿っている。星の家ができた平成9年度、児童相談所における虐待相談処理件数は5,352件、それが平成15年度には26,573件に、今年度はさらに増加する勢いだ。自立援助ホームは元々、児童養護施設や児童自立支援施設を退所した子どものアフターケアを目的としていた。星の家も設立当初は、児童福祉施設を退所し実社会に出たもののうまくいかなかった子どもが多く利用していた。しかし、最近施設退所者に限らず、支える会の定款にある「義務教育終了後、または高校中退し、就労しないなど不安定な生活をしている青少年」という共通

点があるだけで、ボーダレス化してきたと感じている。

児童養護施設の入所児童についていえば、15年前はその6割以上が、親の離婚や行方不明、病気など、親の機能が物理的に喪失してしまった子どもであったが、今日ではそうした子どもは3割に満たなくなってしまった。つまり、被虐待児をはじめ、親がいながら家庭で養育を受けることが不適切であると判断される子どもが確実に増加しているのである。施設の子どもと家庭の子ども、ここでもボーダレス化が進んでいる。

子どものボーダレス化は、養育に携わる者にとって厄介なことである。星の家におけるケアの基本は、信頼関係を醸成して就労、自立につなげていくことなのだが、そこまでのプロセスの中で何に重きをおいて関わっていくのかは入居者一人ひとり皆違っているのである。更生・矯正に重きをおくのか、育て直しなのか、情緒面での治療的な関わりなのか、生活技術の獲得なのか、単なる居場所の提供なのか、多種多様である。そのあたりに星さんの苦悩があるであろうし、また、今日の自立援助ホームの課題があるであろう。

2. 「星の家」のこと

理事 曾根俊彦

私は、小山市の幼児虐待死事件の加害者が「星の家」の入居者とダブってしまう。

新聞記事からしか状況を読み取れずにこういう言い方をするのは軽率かも知れないが、暴走族の先輩後輩という人間関係の中で、「虐待の発覚による暴力を恐れたもの」が殺害動機だとすると、17・18歳の頃の間人間関係から一歩も進んでいない、39歳の彼にとっての自立（大人になること）とは何だったのだろうか。

平成9年に「星の家」が開設した当時、児童養護施設にいた私は、中学を卒業してすぐ施設を退所就職した子や、高校を中退して施設にいらなくなってしまった子ども達に一寸した居場所とそれを支える大人が出来たことがとても嬉しかった。それ以前の彼らは15歳という若さで社会に出、彼らを支える特定の大人もいない中で、必要以上の遠回りをしながらも加齢と共に、なんとか大人になっていた。

「星の家」が開設してから7年、子ども達の状況が悪くなったのか、私の認識が甘かったのか、今の子ども達にはその力はない。世の中と同じ空気を吸っている「星の家」も例外ではない、むしろ青少年問題の最底辺を担っている「星の家」では、それが凝縮して現れている。「何で俺だけがこんな思いを」と不幸の鎧を身にまとい、肩肘張って自分の殻に閉じこもっている子。年下の子にまで顎で使われ、言いなりになっている自尊感情の持てない子。感情コントロールが出来ずにすぐにパニックを起こし、自傷他害行為に及んでしまう子。対人関係をうまく作れず、人間不信に陥っている子等々・・・私が思い描いていたような、居場所の提供や、一寸した大人の支えだけではどうにもならないような重たいものを、彼ら一人一人は抱えている。

A君が傷害事件を起こして警察に捕まった。「俺と係わったやつは不幸になるから」と星さんと話をする以外ほとんど部屋からでなかった

彼が、仕事も始めスタッフとも少しずつ話を始めた矢先の事だったので、みんなが信じられなかった。彼は逮捕された当初、「俺なんかもうどうなっても良い」と、容疑事実をかたくなに否認し続けていたそうであるが、星さんが面会し、「本当にやったことならば、キチッと罪を償ったうえ、もう一度星の家でやり直せばいい」と言った一言が、彼の自供につながった。

この頃、星の家では退居者を含め何人かの子が警察に捕まるなどして、ゴタゴタしていた時期であった。私は、一寸元気のない星さんを見て、「こちらの思いが子ども達に伝わらず、実績の上がらないことに疲れている」とばかり思っていた。

ある時、星さんがA君のことを語ってくれたことがある。彼の心の中に住むモンスターのこと、彼が被害者に対してどう償っていくのかと言うこと、そして彼自身がこれからどう生きていくかと言うことを。この若さであまりにも重い荷物を背負って生きていかなければならない彼、そして彼と一緒に歩いていこうと決めた星さん、その荷物が重ければ重いほど、星さんの肩にも重くのしかかる。「自分自身がこの重荷を背負い続けられるか」という所での迷い。そんな話を聞きながら、子ども達のことをこんなに自分のことのように思える星さんの素晴らしさに、また惚れ直してしまった。私には、星さんと共に子ども達の重荷を背負ってあげる力量はない。星さんが疲れて、一寸荷物を肩から下ろしたとき、その荷物の見張り番ぐらいなら出来る。

39歳の新たな加害者を作らないためにも、私たちに今何が出来るのかを考えていかなければならない。 ◀

8th チャリティーコンサートの開催日決定！
平成17年2月11日（金曜日・祭日）夕刻
詳細は次回会報にてお知らせします。

第7回「星の家」祭り開催のお知らせ

開催日時：平成16年11月14日（日曜日）10時30分～15時00分 雨天決行

場所：宇都宮市明保野体育館及び隣接駐車場 宇都宮市明保野町7-1

祭り内容：バザー及び模擬店

★ご友人やご近所の方々を誘いながらのご来場をお待ちしております。

○バザー用品のご提供のお願い！

会員の皆様には毎々格別のご援助をいただいておりますが、祭りも回を重ねるごとにバザー用品の提供が減少しております。特に昨年は、日用品などのバザー用品が半減し、このままではバ



前回屋内バザー風景

ザー継続が厳しくなっております。

このような状況をご理解の上、前回会報送付の際にお願いしました通り、是非ともバザー用品の提供にご協力をお願いいたします。

日用品、雑貨、食料品などが
大幅に減少しております

★品物のご提供に際し、“少量の日用品等”を添えていただければ幸いです。

★なお、古着は今までに沢山のご提供がございますので、誠に恐縮ですがご提供を少し控えていただければ幸いです。



○ボランティア募集！

a. バザー、模擬店および会場設営などの当日手伝い

集合時間：8時30分（解散は17時頃）

集合場所：会場（前回と同じ場所です）

駐車場：宇都宮市明保野コミュニティーセンター周辺の無料駐車場が利用可能

その他：昼食付です。会場設営用に軍手をご用意ください。

楽しみながらボランティア



前回祭りボランティアの皆さま

b. 開催前のバザー用品値付け作業

場所：宿郷コミュニティーセンター（昨年と同じ）

定例曜日：毎週金曜日 13時～16時

値付け作業日：

□10月 8日、□10月 15日、□10月 22日

□10月 29日、□11月 5日、□11月 12日

* 日時変更時にはご連絡いたします。

申込み・問合せ先 TEL：028-651-0161

星の家祭り担当：多門 or 行田まで

物品送り先：321-0963 宇都宮市南大通り

青少年の自立を支える会 「星の家」祭り担当

○寄付・会費納入者 敬称略

平成16年4月～16年6月まで

(個人情報保護の観点から、ウェブ版では個人名を割愛させていただきます)

★★事務局からのお知らせ★★
支える会のメールを開設しました！
E-mail: sasaeru@snow.ucatv.ne.jp
支える会に対するご意見、お便りなどをお寄せください！！



(編集後記)

今号は福田事務局長と曾根理事に「星の家」の実情と課題について語っていただいたが、最近の「星の家」の大きな課題の一つは虐待がキーワードだと・・・

「星の家」の(元)入居者たちの中には、程度の違いこそあれ虐待を受けながら育った子どもがいるが、この子どもたちの心の傷の大きさと痛みは、どれ程のものか!? その程度に応じて星さんが言う「心の闇のモンスター」が、生まれて育つのではなかろうか。

支える会の事務局を兼ねている「星の家」で事務を執りながら「星の家」の子どもたち、そして訪ねてくる未だに社会的自立が難しい元入居者たちの言動や生活を垣間見ていると、このモンスターが現れるときがある。このときほど支える会の活動の困難さと重要性をつくづく感じるのである。星さんの顔に苦悩の色がにじむ・・・ (多門)

街頭募金のお知らせ

開催日時： 平成16年11月21日(日曜日)
午前11時00分～16時00分 雨天決行

場所： 宇都宮百貨店前～
宇都宮市オリオン通り間

協力： 宇都宮陽東ロータリークラブほか

ボランティア募集：街頭に立って募金を呼び掛けたり、支える会の活動PRチラシの配布などを手伝っていただける当日ボランティアを募集しております。



過去の募金風景